

取組体制と年間スケジュール

→ 前のページから続く

■地蔵盆道具入れ兼用の防災倉庫の設置を、マンション等へ推奨する

地蔵盆の道具入れの置き場所と、防災倉庫は兼用できる可能性が高いです。できればマンション等と連携して設置することで、より多くの地域住民に地蔵盆や防災活動に親しんでもらえるように取組んでみましょう。

■一時避難場所として活用できるオープンスペースを、事前に確認する

まちの中には、駐車場や社寺の庭園、ビル前の空間など、建物のない空地（オープンスペース）が数多くあります。災害時に一時避難場所として活用可能なものもありますので、事前に確認しておきましょう。

■民間オープンスペースの非常時の活用について、所有者等と事前に協議する

民間のオープンスペースで、災害時に有効なものがあれば、事前に所有者等と協議し、活用の可能性について検討しておきましょう。

取組体制と年間スケジュール

- 有隣学区では、毎年11月に総合防災訓練を実施しています。それに先立ち、10月には自主防災会の部長会を開催し、防災情報の共有や訓練内容の検討を行っています。この時期に合わせ、各町内会では路地や町単位の取組を検討し、防災訓練の結果を踏まえて、具体的な取組を進めてください。

また個人でできる、建物の防災性や避難経路の確認は、日々行うようにしてください。

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
個人	建物・避難経路の確認	●											●
町内会	路地や町単位の取組						●	●	●		●	●	●
学区	総 会	●											
	総 合 防 災 訓 練							部長会 ●	●				

取組チェックリスト

共通の取組

自分で取組むこと

- ☐ 自宅の中の耐震化(家具の固定化など)を進める
- ☐ 木造建物の耐震診断、耐震化を進める
- ☐ 老朽化した空き家の対策を行う
- ☐ 塀の安全性を点検する

町内会・マンション等で取組むこと

- ☐ 災害時要配慮者を把握する
- ☐ 危険箇所を確認し、対策を検討する
- ☐ 空き家の所有者の連絡先を把握する
- ☐ 防災マップなどを町内やマンションの掲示板に貼る
- ☐ 一時避難場所として活用できるオープンスペースを事前に確認する
- ☐ お地藏さんを防災拠点として役立てる
- ☐ マンションに表札を出す、または出すよう促す
- ☐ 民泊・宿泊施設の運営者との連携を図る

エリア別の取組

河原町・五条通沿いで特に取組むこと

- ☐ 通沿いの建物の耐震化、不燃化を進める

有隣まちなかで特に取組むこと

- ☐ 町並みに配慮しつつ、通沿いの建物の耐震性・防火性を高める
- ☐ 路地、袋路の入口の建物を燃えにくく、倒れにくくする
- ☐ 避難扉を設置して、袋路の安全性を確保する
- ☐ 路地、袋路の安全性向上のため、関係者が話し合う場をつくる

松原・富小路・柳馬場通沿いで特に取組むこと

- ☐ 町並みに配慮しつつ、通沿いの建物の耐震性・防火性を高める
- ☐ 避難扉を設置して、袋路の安全性を確保する
- ☐ 路地、袋路の安全性向上のため、関係者が話し合う場をつくる

万寿寺通沿い・福田寺町で特に取組むこと

- ☐ 町並みに配慮しつつ、通沿いの建物の耐震性・防火性を高める
- ☐ 路地、袋路の入口の建物を燃えにくく、倒れにくくする
- ☐ 路地、袋路の安全性向上のため、関係者が話し合う場をつくる